



組合員の皆さん

## 経営概要

## 農事組合法人白鳳梨生産組合

- ◆代表者・所在地  
前田 篤 三重県伊賀市
- ◆設立  
昭和23年
- ◆経営規模  
梨 14.9ha（組合員計）、選果場 1 棟、直売所 1 棟
- ◆従業員数  
組合員20名
- ◆事業内容  
梨の共同選果及び出荷、直売に取り組む

## 1 現状と相談までの経緯

昭和23年に地域の梨生産者組織（任意組織）として設立され、全量を組合所有の選果場で選果し、共同販売と直売をしている。近年、世代交代や新規就農者の参入によって、積極的な新植・改植が行われ、**生産量が増加していくことが見込まれるため、増産に対応できる効率的な選果場の運営体制を整備する事が課題となっていた。**

こうした中、日常的に付き合いのある普及指導員から農業経営・就農支援センターを紹介された。

## 2 相談内容

現在、選果場の従事者は生産者自身やその親族及び知人、シルバー人材等であり、高齢化が進んでいる。現状のままでは、増産に対応することが難しいことから、施設運営の維持に加え、**将来の規模拡大に向けた労働力不足や経費増加という2つの課題を解決するため、選果場の動線の見直しを行うことで、効率化と人件費の削減に取り組みたい。**

## 3 支援内容

## ■支援チームによる支援計画の策定

選果場運営の効率化と安全性確保による経営改善のため、**専門家による経営分析**を踏まえ、経営戦略会議において**支援チームを編成し、支援計画等を策定した。**

支援チーム構成員：

中小企業診断士、農業経営・就農センター専属スタッフ、普及指導員（品目担当、経営管理担当）

## ■専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、普及指導員が中心になり、専門家と調整を行った。**センター専属スタッフの助言、中小企業診断士の派遣を通じて、選果場や直売所の労働環境や運営改善に向けた支援を行った。**

## ・作業動線や労務管理の助言（中小企業診断士）

第三者の視点から、作業動線の重なりがない人員配置や直売所の伝票管理など、作業工程の効率化について助言を行った。

## ・GAP手法導入に関する助言（普及指導員）

組合内で主体的な経営改善の機運が高まり、具体的な方法として、普及指導員からJGAP基準書に準じた取組の提案を受け、実践を開始した。さらに、三重県国際水準GAP支援制度（県独自制度）を活用し、GAP認証取得に向け取り組んでいる。



支援チームによる助言の様子

### ■ 支援を受けて・・・

本格的にGAP手法に取り組んだことで**労働安全のほか、食品安全や環境保全への意識も高まり**、GAP取組に伴う更なる経営環境の改善について組合内で協議を進めていきたい。

### ■ 今後の経営展開

今後も営農を継続する組合員で協力して、経営の改善や合理化を進め、**安全・安心な梨づくりに努めるとともに、ブランド力を更に高め**、経営を発展させたい。

また、魅力ある梨栽培経営を実現し、**後継者や新規就農者を確保・育成して、持続可能な経営**を目指したい。



選果場の様子

### 喜びの声

センターの専属スタッフや専門家の方からのアドバイスは参考になりました。第三者の目を見ていただくことで自ら改善を考えるきっかけとなりました。

GAP手法導入については、普及指導員の方が熱心に提案と指導をいただき、実際の基準書を用いた本格的な取組をすることができ、経営改善や労働安全、環境への意識が高まりました。

### 専属スタッフ所感

選果場や直売所の運営・作業効率の改善について、中小企業診断士による組合員へのヒアリングや、現地調査等の専門家派遣を通じた改善策の具体的な提案を契機に、GAP手法を導入し、経営環境の改善に取り組まれたのはとても良い事だと思います。更なる改善に向け、組合一丸となって取り組まれることを期待します。

## <支援機関> 三重県農業経営・就農支援センター (三重県農林水産支援センター)



三重県農林水産支援センター外観

### 組織概要

#### ■ 相談窓口

【経営相談】 三重県農林水産支援センター  
住 所：三重県松阪市嬉野川北町530  
電話番号：0598-48-1225

まずはお近くの**サテライト窓口**まで  
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）  
9：00～12：00 13：00～17：00

【就農相談】 三重県農林水産支援センター  
住 所：三重県松阪市嬉野川北町530  
電話番号：0598-48-1226

まずはお近くの**サテライト窓口**まで  
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）  
9：00～12：00 13：00～17：00



三重県の農業を担う人材を幅広く確保し育成していくために、三重県が経営及び就農相談等の機能を担う体制を整備し、総合窓口として各市町や関係機関・団体と連携を図りながら、担い手の確保や農業経営体等の育成に向けた様々な支援を行っています。